

第3回 子吉川河川整備委員会議事概要

平成17年10月27日

国土交通省 東北地方整備局

第3回委員会での説明内容について

- ・ 治水対策の具体的内容
- ・ 利水の目標と具体的内容
- ・ 河川環境の目標と内容

1. 治水対策の具体的内容について

子吉川の治水計画の治水安全度について

子吉川の河川整備計画実施による浸水被害の軽減の説明で、30年に1度程度の洪水についての説明と、10年に1度の洪水についての説明が理解しにくかったため、わかりやすい説明をしてほしい。

1. 治水対策の具体的内容について

河道掘削について

河道掘削について、水辺利用、高水敷植生や低水路環境に十分配慮し、掘削にあたっては、場所、時期といった順番などを考慮することで、掘削部の自然の復活が期待できるのではないか。

2. 利水の目標と具体的内容について

正常流量について

宮内地点の32年間の湧水流量では、過去32年間で3分の2以上もこれを下回る湧水流量を示しており、最低限の必要な動植物の保護、漁業、景観、観光、塩害の防止等が守られなかった原因の説明をしてほしい。

3. 河川環境の目標と内容について

河川環境について

環境の面から見ると、その基本となるモニタリングの概念が重要である。その体制をどのように整備するか整備計画に盛り込んで欲しい。

4. その他

鳥海ダムを紹介について

一般の人は、事務所にパンフレットをもらいに行くわけにはいかない。ホームページの充実を図って欲しい。

4. その他

整備計画のまとめ方について

理念、目的、目標等からなる将来像を描き、子吉川の特徴をしめす。

河川整備計画の3本柱である治水、利水、環境が独立でなく、全体として整合を図った計画として整理する。

4. その他

鳥海ダムの整備効果について

鳥海ダムの有無による河川整備等の比較表を整理する。